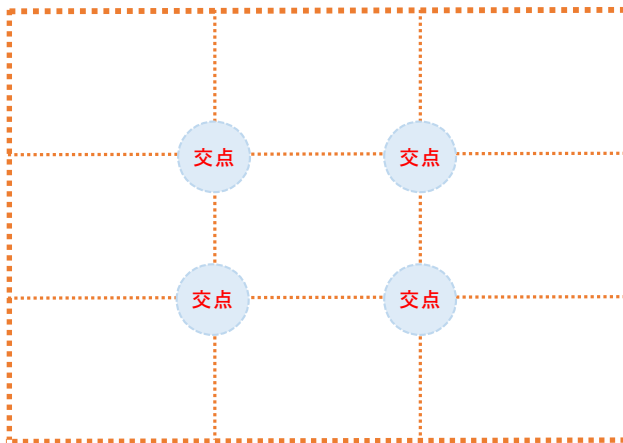


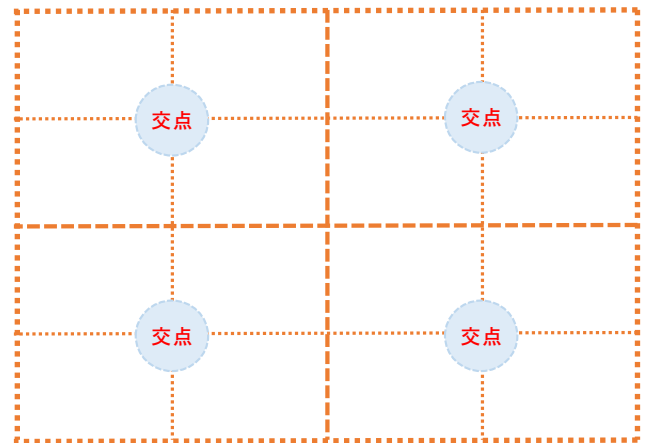
② - 徹底したい基本構図 ・ ・ 原則を理解したら、次に「基本構図」を知ることが重要！

写真のベースとなる 基本の構図 - (1) キホン「構図の物指し」

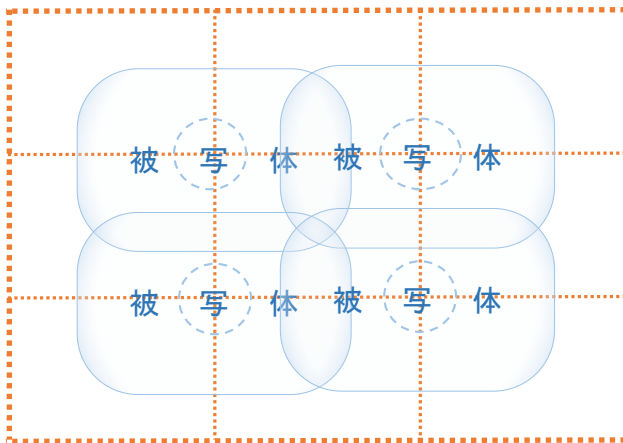
三分割 (中心集中型) 写真のモノサシ 四分割 (比較対象型)



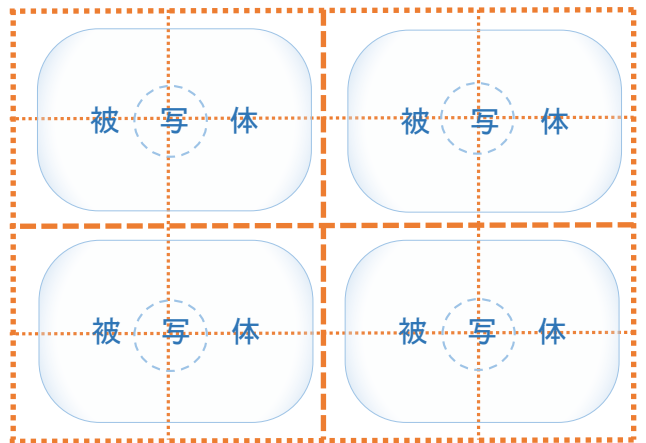
主題・副題を交点の中心に置いて表現する。題材が重なる場合があるため工夫が必要。



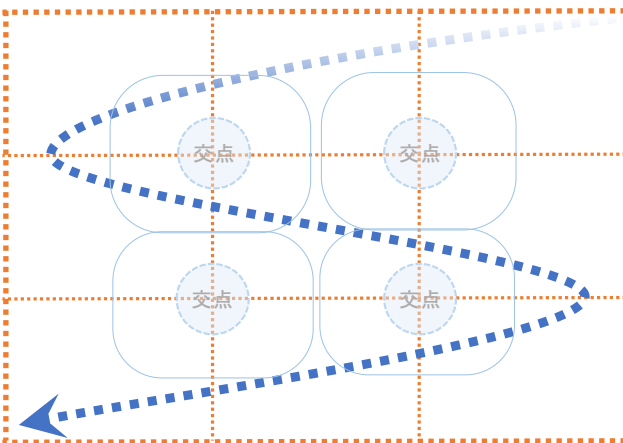
主題・副題を交点に広く置き、四つの役割を明確に！前部に副題を配置し、遠景を引き立てる効果を狙う。



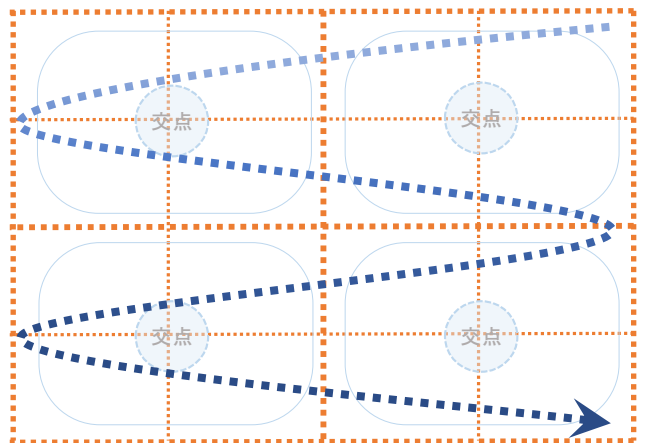
三分割は主題と副題が中心に偏りすぎる傾向に注意。テーマを中心に集めて集中力を表現する場合は効果的。集中しすぎて単調にならないよう、画角の再確認も。



それぞれ四つの画面で、主題と副題をハッキリとさせ、主題対比型の配置を取る。主題を引き立たせるため、最も優位な基本構図である。



スカイラインも、三分割の上に置く。視線誘導が狙い。四分割より、流れのカーブがやや緩く表現される。



スカイラインも四分割の上に置く。視線誘導が狙い。遥かに続く尾根すじの流動感や、張出した鋭い雪庇など、緊張感や景色のリズムを表現できる。

ファインダーを覗く前に、景色を目で見て、主役と脇役の配置を決めよう！

全ての構図は、三分割または、四分割の上に成り立っていないと、全体のバランスが崩れて写真力が失われます。ちなみに、筆者は四分割の視点で景色を見て構図を配置する事を好みます。

ここに記述したのは、一例です。考え方は黄金比率が原点になっていますが、感性によって撮れば、自ずと黄金比率に適應出来てきます。基本構図の形式については他書を読んで、しっかり学習して欲しい！